

# 東京都立世田谷総合高等学校

## 平成23年度「産業社会と人間」および関連指導項目の年間計画（1月10日版）

- ◆23年度新たな単元：①ベネッセ作成の冊子の利用 ②業者適性検査の実施（科目選択の援助） ③卒業生の活用（科目選択の援助）
- ◆個人発表について 進学：大学訪問（授業内）→オープンキャンパス参加→クラス発表1回目  
職業：職場体験（授業内）→職業人インタビュー実施→クラス発表2回目
- ◆グループ発表 フレッシュマンセミナー
- ◆前期テーマ「科目選択」、後期テーマ「人のために働く」\*は講演会・発表会等メモ

回	月日	時間	単元	授業内容	ワークシート（*は講演会等のメモとして使用）	ねらい	使用するテキスト等
1	4月15日	5	オリエンテーション	年間授業計画	1 産業社会と人間とは	産業社会と人間の授業内容について知る	
2		6	自己理解	職業レディネステスト		職業レディネステストを実施し、自分の職業に対するプロフィールを知る	VRT問題・解答用紙
3	4月22日	5	自己理解	職業レディネステスト	結果の見方・生かし方		
4		6		フレッシュマンセミナー 事前指導			受講ガイド
	4月25日		校内研修	フレッシュマンセミナー	研修1「本校選択科目について」	本校の選択科目を理解する。	
	4月26日		校内研修	フレッシュマンセミナー	研修2「高校生活の目標」	まとめる能力、発表する能力を養い、そのために必要なことは何かを考える	
5	5月13日	5	進路を考える	進路講演会「大学訪問の準備」	*2 見学・オープンキャンパスの意義	入試形態の多様化等に言及してもらう。業者に依頼	大学訪問事前アンケート
6		6	進路を考える				
7	5月20日	5	進路を考える	講演会「ビジネスマナー、高校生・大学生の就職活動」	*3 働くとは	ハローワークジョブサポーターの講演	
8	( <b>考查1週間前</b> )	6	進路を考える				定期考查Ⅰ
9	6月10日	5	進路を考える	進路体験活動1（大学訪問）	*4 大学訪問のまとめ	近隣の6大学に希望で分かれ、大学を訪問し、職員の話聞き施設を見学する。日本大学、駒澤大学、東洋大学、産業能率大学、多摩美術大学、京都市大学	
10		6	進路を考える				
11	6月17日	5	進路を考える	業者適性検査		放送で一斉に行う	
12		6	進路を考える				カタリバ事前アンケート
11	6月24日	5	科目理解	受講相談②	予備調査用紙（教務部）		受講ガイド
12	( <b>考查1週間前</b> )	6	科目理解		(夏季休業中進路体験学習の確認)		定期考查Ⅱ
13	7月8日	5	科目理解	カタリバ（大学生と話をしよう）	(カタリバが作成したシート使用)	大学生や専門学校生から進学先の学びと科目選択の関係や、興味・関心などを経験談から自身の進路選択に役立てる	
14		6	科目理解				
15	7月15日	5					
16	( <b>午前授業・成績会議</b> )	6					
	<b>8月中</b>			<b>進路体験活動</b>	<b>進路体験活動報告書の記入</b>	<b>各自で上級学校訪問や職場体験を行う</b>	<b>夏季休業日</b>
17	9月9日	5	進路を考える	進路体験活動発表会準備	*5 発表原稿をつくる	発表の準備	進路体験活動報告書提出（9月1日）
18		6	進路を考える				
	9月18日		全文化祭展示			フレッシュマンセミナーの成果を発表する（クラス代表発表模造紙）	
	9月19日		全文化祭展示				
19	9月30日	5	進路を考える	進路体験活動発表会	*6 進路体験活動発表会	他の人に伝える工夫を考え、またクラス発表を聞いて他の人の工夫を知る	
20		6	進路を考える				
23	10月14日	5	科目理解	進路講演会（ベネッセ）	*7 実力試験の結果について	様々な入試制度	スタディサポート第2回判定結果
24	( <b>考查1週間前</b> )	6	科目理解	科目登録説明会（教務部）	選択枠提示		定期考查Ⅲ
25	10月28日	5	科目理解	業者適性検査の結果分析	自分発見シート、DSCP職業ブック		適性検査結果返却
26		6	科目理解	受講相談④	受講ガイド使用	多くの先生と面談を行い、進路について考え、受講登録に生かす。	HR教室・進路資料室も使用
27	11月4日	5	科目理解	科目相談⑤			
28		6	職業理解		カタリバ事後アンケート		受講登録締切 11月9日（水）
29	11月11日	5	職業理解	進路体験活動2（職業体験）	*9 様々な仕事を知ろう	「気になる人を見つけよう」ワークシート	じぶん未来BOOK
30		6	職業理解		10 インタビューのコツ		ほくらとおしごと、2つのインタビュー原稿一回収する
31	11月18日	5	職業理解	講演会「職業人インタビューから学ぶもの」	*11 働くこととは	産業能率大学講師	5限目：体育館（プロジェクター使用）
32	( <b>美化デー</b> )	6	職業理解	インタビューの練習			6限目：教室（大学生が各クラス2名入る）
33	11月25日	5	課題研究	課題研究発表会			体育館
34		6	職業理解				講演会職業の希望調査
35	12月2日	5	職業理解	分野別進路講演会（コアネット）	*12 会社で働くとは	職場体験・職業人インタビューの動機づけとする。分野別講師6名希望を取り分野別で行う。	HR教室6教室
36	( <b>考查1週間前</b> )	6	職業理解		13職業人インタビュー取材のステップ	インタビューについて必要な基本事項について考える。	定期考查Ⅳ
37	12月16日	5			<b>職業人インタビューの整理</b>	<b>職業人インタビューの結果をまとめる</b>	<b>冬季休業日</b>
38	( <b>午前授業</b> )	6					
39	1月13日	5	職業理解	職業人インタビュー	*14 発表原稿を作る	報告書をもとにクラス内発表会の準備を行う	職業人インタビューお礼状作成（鑑文・見本・封筒・下書き・本番）
40		6	職業理解	職業人インタビュー			
41	1月20日	5	職業理解	職業人インタビュー	*15 職業人インタビュークラス内発表会	他の人の発表を聞いて、他の人の体験をシェアする	冊子原稿代表者決定
42		6	職業理解	職業人インタビュー			冊子原稿PC入力開始。
43	2月3日	5	職業理解		進路講演会		大講義室 椅子240名用意（2月17日まで維持?）
44		6	職業理解				修学旅行引率等で担当教員8名で授業を行う
45	2月10日	5	進路を考える	論文指導	レクチャー1・レッスン1		小論文チャレンジシート Vol.2
46		6	進路を考える		レクチャー2・レッスン2		
39	2月17日	5	進路を考える	講演会（論文の書き方）		「働くことの意味」「何のために勉強するのか（課題文型）」	大講義室 椅子240名用意
40		6	進路を考える		レクチャー3・レッスン3	「国際理解で大切なこと（課題文型）」の3つから選択。	「国際理解で大切なこと」は2月3日講演会を参考にさせる
49	3月2日	5	進路を考える	小論文試験	小論文トレーニング 事前学習シート		
50	( <b>考查1週間前</b> )	6	進路を考える		小論文作成		